

「2015年度 新潟県経営品質賞」受賞について

新潟県経営品質賞は、米国企業競争力復活の原動力となった「マルコム・ボルドリッジ国家品質賞」の考え方を範として、県内企業が競争力のある経営構造へ質的転換を図るために「顧客視点から自己革新を通じて提供価値を創造する卓越した経営の仕組み」を有する企業を表彰するために1999年に創設されました。

事業環境変化に対応して独自の提供価値を生み出すプロセスが審査されます。表彰区分は、県知事賞・とき賞・奨励賞・チャレンジ賞の4区分です。

当社はこの度「とき賞」を受賞し、4月26日に新潟県庁で表彰式が行われました。県知事賞は2005年度以降11年間受賞がなく、とき賞は今回が初受賞です。

通常は受賞までに4年程度の取り組みが必要ですが、当社は見える化を始めとした諸改善活動をベースに、3か月サイクルで経営品質活動を推進し、取り組み開始からわずか1年での受賞となりました。

当社の受賞理由は、次の通りです。

- 1 「プレミアムテクノカンパニー」の実現に向け、社員同士の思考を重視した組織づくり
- 2 「ベストマッチ」という顧客価値を起点とした業務プロセスの革新
- 3 経営幹部による「成長と変革」を促すコミュニケーションの徹底

(参考)

「プレミアムテクノカンパニー」として特殊合金・独自製品設計・高精度加工技術のベストマッチを行い顧客製品高品質・高機能化に貢献することを目指しています。プレミアムテクノカンパニーを実現するために「かがやきサイクル」を実践しています。かがやきサイクルとは、「人・職場・会社」「製品」「顧客・地域」の3つがかがやくために「職場目標と個人宣言」を設定し、達成感・やりがいを得る活動です。

表彰式の様子



1. 新潟日報 (2016/4/27 付)



**人材育成を高評価
2社、初の「とき賞」
県経営品質賞**

県内企業の経営姿勢を審査、評価する県経営品質賞委員会（委員長・泉田裕彦）は26日、金属製品製造販売の日鉄住金工材（上越市）と段ボールなどの包装設計、製造販売のフーゲツ（小千谷市）の2社に、2015年度県経営品質賞「とき賞」を贈った。

とき賞は最高賞の知事賞に次ぐ賞で、05年度に設けられたが、授与するのは今回が初めて。

日鉄住金工材は製品の高品質化を目指し、自発的に問題解決ができる人材育成を……

県経営品質賞の「とき賞」に選ばれ、賞状を受け取る受賞企業は26日、県庁

知事）は26日、金属製品製造販売の日鉄住金工材（上越市）と段ボールなどの包装設計、製造販売のフーゲツ（小千谷市）の2社に、2015年度県経営品質賞「とき賞」を贈った。

とき賞は最高賞の知事賞に次ぐ賞で、05年度に設けられたが、授与するのは今回が初めて。

日鉄住金工材は製品の高品質化を目指し、自発的に問題解決ができる人材育成を……

県経営品質賞の「とき賞」に選ばれ、賞状を受け取る受賞企業は26日、県庁

を実施。フーゲツは社員全員参加型の目標管理制度を導入、定着した。これらの点が委員会に評価された。

表彰式では県経営品質協議会の関昭一代表幹事が日鉄住金工材の石川昌弘社長（62）とフーゲツの千葉智社長（56）に賞状を手渡した。

石川社長は「ものづくりの最前線にいる者にとつて名誉ある賞。挑戦を続け、高品質な製品を作りたい」とあいさつ。千葉社長は「これから学習する組織を目指し、頑張りたい」と決意を語った。

表彰は企業の競争力向上などを目的に1999年度に始まった。知事賞は04年度を最後に出していない。

2. 上越タイムス (2016/5/7 付)

日鉄住金工材（上越市）を表彰

新潟県経営品質賞 制定後初の「とき賞」

新潟県経営品質賞委員会（委員長・泉田裕彦）は、平成27年度の新潟県経営品質賞の「とき賞」に、上越市川原町の日鉄住金工材（石川昌弘社長）など2社を選出し、このほど表彰した。

同表彰制度は、泉越賞に位置付けられており、今回2社が制定後初めての同賞受賞企業となった。

日鉄住金工材は、スヘトと転換を図る目的で11年度から始まった「とき賞」は、最高賞の知事賞に次ぐ優秀な

同表彰制度は、泉越賞に位置付けられており、今回2社が制定後初めての同賞受賞企業となった。

日鉄住金工材は、スヘトと転換を図る目的で11年度から始まった「とき賞」は、最高賞の知事賞に次ぐ優秀な

を評価した。

経営品質賞は知事賞、とき賞のほか、奨励賞とチャレンジ賞の4賞が設けられている。県知事賞は過去5社が受賞、奨励賞が16社、チャレンジ賞が2社となっている。前年度はいずれの賞も受賞がなく、2年ぶりの表彰となった。上越の企業では、11年度に岩の原葡萄園（上越市）、14年度にエム・アイ・ディジャパン（同）がいずれも奨励賞を受賞している。